

# 日刊 勤労千葉

86. 6. 27

No. 2277

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

## シリーズ その4

# 国鉄連8法案を粉砕しよう

【臨時国会に再提出される予定の国鉄関連8法案】

- ①国鉄改革法案 ②旅客会社、貨物会社法案
- ③国鉄清算事業団法案 ④再就職促進特別措置法案
- ⑤新幹線保有機構法案 ⑥国鉄改革法等施行法案
- ⑦鉄道事業法案 ⑧地方税法改正案

今回は、八七年四月・新事業体への移行した後の三年間、六万一千名を「六割給」で飼い殺し「再就職のための教育」なるペテンで放り出すための法案Ⅱ「再就職促進特別措置法案」と、そして、新幹線の保有会社なる赤字製造会社トネル会社を設置するための法案Ⅲ「新幹線保有機構法案」の二法案のデマとペテンについて明らかにする。

### ④ 「再就職促進法案」

三年間で放り出す

「再就職促進特別措置法案」とは、文字通り二万名の希望退職者と四万一千名の旧国鉄にのこされる者の「再就職」と称する首切りを遂行するための法案である。それは、一九九〇年四月一日までの三年間の時限立法で、

- (1) 再就職あつせんは三年間だけ
- (2) その間、賃金は六割しか保障されず
- (3) 再就職の受け皿がなければ三年後に失業する。

という内容だが、では「再就職」はできるのだろうか。その受け皿はあるのか？ 当局が大宣伝している政府・公的機関で三万名、民間一万名、関連企業二万名なる受け入れを見ても、具体的計画は明示できず、政府が特殊法人・地方自治体・民間企業などに「要請する」のみのペテンでしかないであり、経済不況のなかで、今の労働条件で就職できるはずがなく、家族をかかえ六割の賃金でどうして生きていけるのか。しかも三年で保障は打ち切るといっているのである。

また、政府・当局は、六割の受け入れが決まったとデマをとばしているが、これもデタラメで受け入れ先が求めているのは「条件」「制限」がついたものがほとんどであり、受け入れ先が決まったという数字合わせだけのものだ。しかも受け入れ先は国鉄の利権を見返りに求めているのだ。

以上みても三年後に完全失業は目にみえている「首切り法案」である。

### ⑤ 「新幹線保有機構法案」

赤字を生みだす第二の鉄建公団

「新幹線保有機構法案」ほどデマ・ペテンにおおわれているものはない。

- (1) 各新幹線を分割会社から分離したうえで輪切りにし、保有会社トネル会社を設置し、使用料をしぼりとる。
- (2) この保有機構が上野―東京間の着工するほか、後々には整備新幹線（総工費二十兆円）の工事主体となる。

国鉄「赤字」の最大の元凶が田中角栄の日本列島改造による新幹線建設であった。そのトネル会社が「鉄建公団」だったが、第二の鉄建公団となり、さらなる赤字を生みだすのがこの保有機構である。そればかりか整備新幹線は在来線・ローカル線の廃止を前提として着工されるのだ。財政再建、赤字の解消、国鉄再建などといいつつ「赤字」をつくり出す矛盾にみちた法案である。

## 野球大会 一回戦行われる

幕張・館山 勝ちぬく  
新小岩・佐倉

動労千葉サークル協・野球大会が六月五日・二十三日の両日、千葉市公園球場において一、二回戦が行われた結果は次の通りです。

- 一回戦
  - 勝浦 14 - 1 木更津、館山 5X - 2 津田沼
  - 佐倉 10X - 3 千葉転、新小岩 12 - 2 成田
- 二回戦
  - 幕張 3 - 0 勝浦、佐倉 3X - 2 銚子

千葉市公園球場で  
第一試合……幕張―館山  
第二試合……佐倉―新小岩  
準決勝・決勝は、七月一日、